



岐阜県の森林・林業

No.874

2026 July

FREE

ご自由に お持ちください。



# 森 もり 林のたより

8月11日は「山の日」

高山市で“第10回記念全国大会”開催



| 開催日      | 行事名等                              | 内 容 等                                                                                                                                                                                                         | 場 所                                                                                           |
|----------|-----------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
|          |                                   |                                                                                                                                                                                                               | 申込(問合せ)先/TEL                                                                                  |
| 7月10日(金) | 令和8年度<br>岐阜県森林研究所<br>「研究成果発表会」    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●内容: 岐阜県森林研究所で取り組んでいる森林管理や森林資源の活用に関する研究成果を紹介します。</li> <li>●時間: 13:15～16:15(受付12:45～)</li> <li>●参加料: 無料</li> <li>●事前申し込み: 当所ホームページからお申し込みください。</li> </ul>               | わかくさ・プラザ 多目的ホール<br>(岐阜県関市若草通2丁目1番地)<br><br>岐阜県森林研究所<br>(岐阜県美濃市曾代 1128-1)<br>TEL: 0575-33-2585 |
| 8月8日(土)  | 第3回狩猟免許試験<br>(わな、第一種銃猟、<br>第二種銃猟) | 狩猟免許取得のための試験を実施します。<br><ul style="list-style-type: none"> <li>●時間: 9:30～17:00</li> <li>●申込: 7月3日～7月17日</li> </ul> ※事前に申請書類等の提出が必要です。詳しくは右記にお問い合わせください。                                                        | 揖斐川町地域交流センター<br>はなもも<br><br>各地域を所管する県事務所等、<br>または自然環境課<br>TEL: 058-272-8231                   |
| 8月9日(日)  | ぎふ木遊館<br>サマーフェスタ                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●内容: 当館名誉館長の竹下景子さんのナレーションと映像により岐阜県の森林の魅力を紹介するほか、竹下景子名誉館長とKEM工房主宰煙山泰子さんのトークライブを開催します。(事前予約制)</li> <li>●時間: 13:00～14:30</li> <li>●対象: 高校生以上</li> <li>●定員: 40名</li> </ul> | ぎふ木遊館(岐阜市学園町2-33)<br><br>ぎふ木遊館/058-215-1515                                                   |



|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 市況                              | 22 |
| イベントカレンダー(林業者向け)                | 21 |
| 研究コーナー                          | 20 |
| 森林技術開発・支援センター きのこと通信(10)        | 19 |
| クヌギ植栽木の枯死原因と再植栽の指導について          | 18 |
| 普及コーナー                          | 17 |
| ウッドデザイン賞2026 作品募集!              | 16 |
| 木の香るぎふの施設(158) 新穂高ロープウェイ 西穂高口駅  | 15 |
| シリーズ「森林・環境税で「緑豊かな清流の国ぎふ」づくり(3)」 | 14 |
| 令和8年度 山地災害防止標語及び写真コンクール         | 14 |
| 多発する山地災害への備え                    | 13 |
| morinos プログラム紹介!                | 12 |
| ぎふ木遊館通信                         | 11 |
| 山の歳時記(25) ユクノキ                  | 10 |
| 森林と人を活かす知恵(162) 木材の「なまえ」問題      | 8  |
| 交流派遣を終えて②                       | 7  |
| 地域レポ 早川木材株式会社                   | 6  |
| 100年の森林づくり計画(森林配置計画)について        | 6  |
| 令和8年度 全国安全週間                    | 3  |
| 第10回「山の日」記念全国大会 岐阜in飛騨高山        | 2  |
| イベントカレンダー(一般向け)                 | 2  |

## 目次 Contents

### 今月の表紙



写真は乗鞍岳山頂付近で登山を楽しむグループの姿。岐阜県が誇る豊かな自然の象徴です。県土の約8割を占める森林は、緑あふれる景観を形づくるだけでなく、土砂災害の防止、水源のかん養、そして県民の心身を癒やす保健休養の場など、多くの役割を果たしています。



8月11日 開催



# 第10回 「山の日」記念全国大会 岐阜 in 飛騨高山

「木の国 山の国」の恵みを生かし、未来につなぐ

「山の日」全国大会は、「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」という国民の祝日「山の日」の趣旨の浸透を図ることを目的に、平成28年から全国各地で開催されてきました。

8月11日（祝日）、岐阜県では初となる全国大会を高山市で開催します。この大会は第10回目の記念大会で、本県では“「木の国 山の国」の恵みを生かし、未来につなぐ”をテーマに、山について楽しみながら学び、岐阜の山や自然の魅力を実感できる一日となるよう、様々な企画を準備しております。

当日は夏休み期間の祝日です。県下各地からの多くの皆様のご来場をお待ちしております。また、大会式典への参加も可能で、ご希望される場合は下記のURLの「申込フォーム」からお申込み下さい。



## 1 記念式典

～「木の国 山の国」の子ども・若者とともに、山を知り、学び、その未来を考える機会に～

### (1) 概要

日時 令和8年8月11日（火・祝）9時30分～11時30分  
会場 高山市民文化会館大ホール（高山市昭和町1-188-1）  
参加者 700～800名  
申込 参加無料、要事前申込み

一般参加者には、もれなく「大会限定オリジナルグッズ」のほか、抽選で県産品等が詰まった「ワクワク岐阜県セット」をプレゼント！



申込フォームからお申し込みください。  
URL : <https://logoform.jp/form/T8mB/1596581>



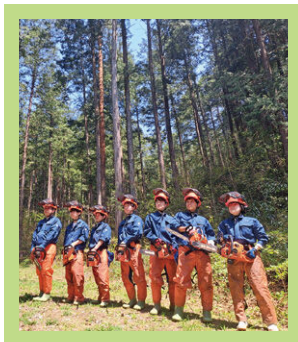
## (2) 主なプログラム



### ○トークショー

地元高校生、林業に携わる方、専門家、行政が、それぞれの視点から、山の未来への展望・希望を発信します。

#### < 出演者 >



飛騨高山高校  
環境科学科3年生



長野 麻子  
(株)モリアゲ代表



井上 博成  
飛騨五木ホールディングス(株)  
企画研究室室長/  
学校法人CoU理事長



林 千晶  
(株)飛騨の森でクマは踊る取締役会長/  
(株)QO 代表取締役社長



三宅 佳奈恵  
きこりかあちゃん/林業従事者



江崎 禎英  
岐阜県知事

### ○山鐘(さんしょう)、「山の日の歌」合唱

子ども・若者が、山の恵みに感謝し、次世代へつなぐ思いを表現します。  
「山鐘」は山への親しみや感謝のメッセージとともに鐘を鳴らす、  
「山の日」全国大会ならではの行事です。



福井大会の様子

## 2 歓迎フェスティバル

～林業・自然体験、山岳観光、飲食、物販など、世代を超えて楽しめるイベント盛りだくさん～

### (1) 概要

- 日時** 令和8年8月11日(火・祝) 10時～17時  
**会場** 高山市民文化会館講堂、小ホール等(高山市昭和町1-188-1)  
高山駅西交流広場(高山市昭和町1-306)  
**参加者** 3千人程度  
**申込** 参加無料、事前申込み不要





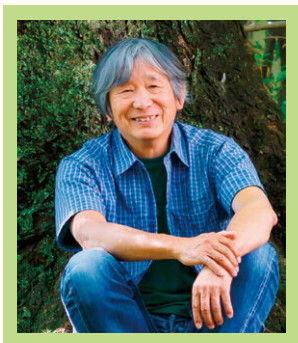
## (2) 主なプログラム

### ①林業・自然体験コーナー

- バーチャルチェーンソーなど森林活動が体験できるVRシミュレーター
- ヒノキ丸太伐り体験、アロマ体験（飛騨高山高校）
- 新エネルギー「バイオコークス」製造体験、展示車両出展
- 林業や山の暮らしを描いたドキュメンタリー  
映画「木樵（きこり）」上映



バーチャルチェーンソー



登山家講演会

### ②山や自然の魅力発信コーナー

- 登山家講演会  
（辰野 勇 (株)モンベル代表取締役会長）
- 県アウトドア観光キャンペーン
- 中部山岳国立公園、御嶽山国定公園等の魅力発信
- 県内市町村・全国各地の山岳観光の魅力発信



丸太伐り体験

### ③お祭り・賑わいコーナー

- 岐阜の魅力が詰まった物販、飲食、キッチンカー出店
- ステージイベント  
（古戦場おもてなし武将隊 関ヶ原組、八代目濃姫）
- お笑いライブ（飛騨・美濃観光大使「流れ星☆」）
- 協賛企業ブース



古戦場おもてなし武将隊 関ヶ原組

### ④お楽しみ企画

- 各コーナーを周って楽しむ「スタンプラリー」や、豪華アウトドアグッズなどが当たる「ワクワク抽選会」を実施



八代目濃姫

## 3 関連イベント

～春から秋にかけて山に関わるイベントを県内各地で開催～

- 式典前後に乗鞍岳、新穂高や飛騨高山の古い町並を楽しむツアー
- 岐阜県出身の山の日アンバサダーである登山Youtuber「かほ」氏と行くトレイルツアー  
（8月以降実施予定）
- 県や市町村等による関連イベントも続々開催



※大会の詳細はホームページをご覧ください。（県自然環境課内事務局 058-272-8227）

また、プログラムは現時点での予定であり、変更することがあります。

お申込みはこちら

7月1日[水]～7日[火]は

## 令和8年度 全国安全週間

スローガン

多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場

林業は自然相手の仕事であり、危険を予測するのが難しい場面も少なくありません。だからこそ、事故には至らなかった「ヒヤリ」「ハッ」とした出来事を仲間と共有し、協力して再発防止策を講じることが安全確保につながります。

みんなで支え合い、安全な職場を育てていきましょう。

- 厚生労働省ホームページや岐阜労働局ホームページなどでも安全週間の案内がありますので参照ください。

厚生労働省 安全週間

検索



## 100年の森林づくり計画(森林配置計画)について

森林配置計画とは、100年先の望ましい森林の配置を見直すため、気候や地形、法規制等の諸条件を踏まえたうえで、県内すべての民有林を以下4種類の将来目標区分に設定(森林配置)するものです。

- ①:「木材生産林」(主たる目的が木材の生産である森林)
- ②:「環境保全林」(水源涵養<sup>かんよう</sup>など公益的機能の高度な発揮を期待する森林)
- ③:「観光景観林」(観光道路から眺望でき景観的価値が高い森林)
- ④:「生活保全林」(集落や生活道路に隣接し住民生活を守るための森林)

将来目標区分は、県内民有林すべてを①・②のいずれかに設定したうえで、地域の特色や実情に合わせて、③・④を①・②に重複して設定しています。なお、設定は市町村ごとに開催される地域検討会において、合意形成を経たうえで行われます。

令和3年度末には①・②の設定率が100%となり、100年先の望ましい森林の姿が明確となりました。今後は、毎年度将来目標区分が適切であるか見直すとともに、それぞれの区分にふさわしい森林づくりを促進していきます。

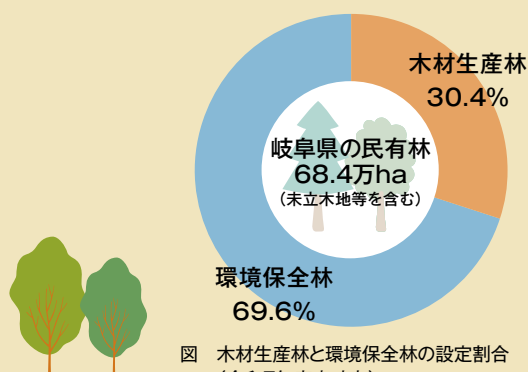


図 木材生産林と環境保全林の設定割合  
(令和7年度末時点)

表 将来目標区分別の面積(令和7年度末時点)

| 将来目標区分  | 面積        |
|---------|-----------|
| ①木材生産林  | 207,823ha |
| ②環境保全林  | 476,282ha |
| 合計(①+②) | 684,106ha |
| ③観光景観林  | 55,289ha  |
| ④生活保全林  | 22,541ha  |

※③、④は①または②に重複する。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しない。





## 早川木材株式会社

専務取締役 小池英仁さん

(ヒノキ風呂職人兼ドラム職人)

今回は、中津川市付知町で昭和28年の創業以来、木曽ヒノキ・東濃ヒノキをはじめとする良質な地域材を中心に、建築用構造材や造作材、檜風呂用材などの製材・加工、ヒノキ風呂、ドラムの製作を行っている早川木材株式会社の専務取締役 小池英仁さんにお話を伺いましたので紹介します。



### ●小池英仁さんの経歴は？

生まれたときから木に囲まれて育ち、父親が製材業をしていたので、自分も木を扱う仕事がしたいと自然に思うようになりしました。様々な進路を模索する中で珍しいヒノキ風呂を製作している木製浴槽メーカーに引かれ、地元の商業高校を

卒業後、市内にある同メーカーに就職し、ヒノキ風呂や木桶作りの職人として10年ほど勤めた後、実家である早川木材(株)に戻ってきました。



### ●事業内容と小池さんの主な仕事は？

早川木材(株)では、創業以来、国産材・輸入材の製材を行っており、中でも伊勢神宮の式年遷宮で外宮の用材として使用される東濃ヒノキを主として製材・加工を行ってきました。

父親の製材業を引き継ぐ予定で会社に戻って来ましたが、1・2年後からヒノキ風呂の注文が入るようになり、製作を始めました。全国の旅館やホテルから個人のお客様まで幅広く注文をいただい

おり、ご要望や予算に合わせて木曽ヒノキ、東濃ヒノキ、コウヤマキなどを使用して現場に合わせたオーダーメイドの木製風呂を製作しています。

また、桶作りの技術を活かしたドラムの製作にも取り組んでいます。ドラムは従来、薄い板を何枚も重ね、型に入れ、圧力をかけ、真円(まん丸な状態)にしますが、桶作りの技術を活かした桶ドラムの製作は世界初の試みと言われていいます。完全受注生産で注文いただいてから一つ一つ手作業で仕上げています。



### ●ドラムを製作しようと思ったきっかけは？

趣味でドラム演奏を続けており、会社に戻ってきてすぐに以前から考えていた桶作りの技術を活用したドラム製作に取り掛かりました。他にないモノで運が良ければ成功して会社が注目されるきっかけになるのではないかと淡い気持ちで製作を始めました。

最初は地域材を活用しようと思い、地元のスワラ材で製作を始め、ヒノキ、ク

リなどで製作を行いました。

手作業で真円の精度を出すことに非常に苦労しました。また、革張りや木の硬さで厚みを変える必要があるなど音やドラムの構造について一から勉強の日々でした。試行錯誤の結果、ヒノキ、クリ、ケヤキのドラムを製作しています。



### ●今後の目標は？

日本の文化を世界へ伝えていければと考えており、ヒノキ風呂の海外への販売を強化し、販売量を増やしていきたいです。ドラムについても海外への販売を目指していきたいです。また、イベントへの出展を通して、特に子供達へのPRを行い、ドラムの演奏者を増やすとともに、日本の木の文化を伝え、こんな職業もあるんだということを伝えていきたいです。

早川木材(株)

TEL 0573-18212166

【恵那農林事務所 酒井】

# を終えて ②

林務行政を経験された皆様に感想を伺いましたー

## 2年間の派遣を振り返って

岐阜県森林活用推進課

安江 博之

(派遣先 中津川市林政課)

令和6年4月より中津川市へ派遣され、林業振興課長(令和7年度より林政課長)として勤務しました。

令和6年5月には、県内第1号となる『Gークレジット』の認証取得、6月には初めての委員会説明と、着任早々から慌ただしい日々が続きました。令和7年度も、御神木祭、なかつがわ森の木遊館1周年式典、サントリーホールディングス(株)との市有林森林整備協定締結など、多くの節目に携わることができ、周囲の方々に支えていただきながら、充実した2年間となりました。

中でも、特に印象深いのは裏木曽御用材伐採式と御神木祭です。

裏木曽御用材伐採式は20年に一度催行される、第63回伊勢神宮式年遷宮に係る行事です。

御神木Ⅱ御樋代木(みひしろぎ)は、遷宮によりお宮を移す際に御神体を収める器を造るための材料で、御神体に一番近いことから最も大切に扱われる木材です。

そして、伐採式に欠かせないのが伝統伐採技法「三ッ緒伐り(みつおぎり)※地域により呼び名が異なる」です。現代でも裏木曽御用材伐採式は、斧(よき)により伐採されます。地元の裏木曽三ッ伐り保存会(中津川)の方々が携わり、斧を振る姿はまさに杣(そま)です。迫力と気迫が伝わる実演は、毎年GWに道の駅花街道付知で開催される「森林の市」で見られます。

御神木祭は、中津川市合併後初めて市全域で実施しました。平日にもかかわらず多くの市民の方々にご来場いただき、市職員として関わることができたことは、この2年間で最も誇らしい経験です。

林業は多様な価値が求められる時代となった今、森林を適切に維持するには林業従事者の確保・育成が不可欠です。中津川市では令和8年度からこれまで行ってきた人材育成と支援を拡充し、なかつがわ森の木遊館では時間と手間

のかかる『幼少期(大人も含む)からの人材育成(地域の担い手育成)』の森の担い手育成構想の「種まき」を担う施設として開館しました。

施策も施設も、木が育つように成果はすぐには現れません。しかし、継続することこそ意義があると確信しています。

リニア駅開業により中津川市が大きく変わろうとしている今、歴史ある中津川の森林文化を礎とした「ワクワクする森」が未来へと受け継がれることを、心から祈念いたします。この2年間は生涯の財産です。私を育てて頂き、かわっていただいたすべての皆様へこの場をお借りして心より感謝申し上げます。

## 岐阜県林政部での2年間の振り返って

下呂市林務課

神戸 俊明

(派遣先 岐阜県森林経営課)

この度、2年間にわたる岐阜県林政部森林経営課への出向を終え、下呂市役所へと帰任いたしました。振り返れば、この2年間は私にとって驚きと学びの連続であり、何物にも代えがたい貴重な時間となりました。

市役所勤務では林業に深く関わる機会がなかったため、配属当初は「自分が何ができるのか」という大きな不安を抱えていたことを鮮明に覚えています。専門用語一つとっても市役所の事務とは異なる知識が求められ、まさにゼロからのスタートでした。

県での主な業務は、森林技術者の確保・育成・定着に関することでした。特に印象深いのが、着任早々に携わった「森のジョブステーションぎふ」の事務所移転です。右も左もわからず、全体像の把握すらままならない私を支えてくださったのは、周囲の県職員の皆さまでした。関係機関との調整や細かな事務手続きに至るまで根気強く手を差し伸べていただいたおかげで、無事に移転を完了できました。この経験を通じ、組織の枠を超えて協力し合うことの大切さ



# 交流派遣

一国、県、市町村の垣根を超え、派遣により別の行政機関の

を改めて学ぶことができました。

また、最も心に残っているのは、初めて足を踏み入れた林業の現場です。それまでは書類の上でしか知らなかった「伐採」や「搬出」の風景を目の当たりにし、その迫力と技術の高さに圧倒されました。急峻な山中で一本一本の木と向き合う技術者の姿。その情熱によって岐阜県の豊かな森林が守られている事実、深く感銘を受けました。現場の空気感や木の香り、作業に伴う緊張感を肌で感じたことで、私の林業に対する向き合い方は大きく変わりました。「人」を育てる仕事の重要性が、より一層身近で切実なものとして感じられるようになったのです。

県での二年間、多くの方々に支えられ、充実した日々を過ごすことができました。温かく迎えてくださった林政部の皆様には、心より感謝申し上げます。

この春からは、下呂市役所林務課への配属となりました。県で培った経験や知識、そして現場で学んだ「林業への想い」を、今度は下呂市の森林整備や林業振興に生かしていくことが私の使命です。県と市、立場は変わりますが、岐阜県の森林を守り、次世代へつなぐという目標は同じです。これからも現場の声を大切にしながら、地域の林業発展のために精一杯努力してまいります。

今後とも、変わらぬご指導とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## 県との交流派遣を経験して

中津川市税務課 加藤 貴之

(派遣先 岐阜県林政課・森林活用推進課)

1枚の辞令書が私の行政人生に与えてくれたもの。それは、大きな学びと刺激でした。令和6年の1月～2月頃。市での当時の所属である監査委員事務局(兼選挙管理委員会事務局)職員として、1月執行の市長選挙に関する事務がある程度整理できた私に対して、人事課の方から内々で打診があり、3月末の辞令交付を経て、正式に県との交流派遣対象者として、4月から派遣されるこ

ととなりました。

驚きのなか迎えた1年目は、森林活用推進課森林吸収源対策室に所属し、主に森林経営管理制度や森林環境譲与税の担当となりました。また、全体の行事として、5月には「Gークレジット(第1回)認証証交付式」を控え、担当ではなかったものの、連日自身が担当の事務と並行しながら、全体として準備に取り組みしました。

2年目の令和7年度は、林政課森林計画係に異動となり、主に市町村森林整備計画、伐採届等の事務の担当となりました。もともと林務行政の経験がなく、自身の所属する市町村の実情を理解していない状況だったのは悔やまれますが、さまざまな市町村と関わりのある業務を任せていただき、他市町村の状況を学んだり、人脈等を広げたりすることができました。

こうして、2年間の交流派遣を終えた私は、市の林務行政部署に異動になるものと思っていたのですが、令和8年4月からは税務課に所属し、市県民税の賦課業務に取り組んでいます。ちなみに、まったく関係ないかと思いきや、現在の職場は、森林環境譲与税の原資となる森林環境税の賦課徴収に関する事務も所管しており、少なからずご縁を感じています。

さて、これまで林務業務に携わったことがなく、ほぼ知識がない状態からのスタートであり、大変苦労しましたが、それぞれの所属長の方や係長、係員の皆様、また、多くの周りの方に支えていただき、なんとか2年間の期間を終えることができました。

この2年間で得たものは数多くありますが、業務を行ううえでの視点や臨む姿勢等は大きな財産となりました。また、林政部を中心に県職員や市町村職員の方、森林林業に携わる方と面識ができたことは一番の財産となりました。

派遣先の岐阜県の皆様、派遣元の中津川市及び業務でやりとりをさせていただいた他市町村の皆様のほか、関わりがあったすべての方に對して、この場をお借りして、御礼申し上げます。2年間貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。



## 森林と人を 生かす知恵 162

# 木材の「なまえ」問題

岐阜県立森林文化アカデミー 講師 ● 石原 亘

学生の頃、友人に香港からの留学生がいたのですが、彼は自身の名前に英語の通称名(例・スズミ)を日常的に用いていて、私も彼のことを通称名で呼んでいました(おかげで本名が思い出せない・・)。こうしたことは、香港やシンガポールなど英語圏との接触が長い華僑圏では一般的なことだそうですが、半ば公然とEnglish nameがあることをちょっぴり羨ましく思ったものです。

さて、ご存じの方も多いかもしれませんが、木材には、このように複数の「なまえ」を有することが多々あります。木材図鑑には一般的に「和名」と「学名」が記載されていますが、地域的な背景から和名そのものが複数存在する場合もあるほか、実務上では「流通名(市場名)」で呼ばれることも多く、しばしば木材流通や建築の現場で混乱を招いています。

例えば、淡い赤褐色〜黄褐色の広葉樹材は、生物学的な分類を脇に置いて、「〇〇サクラ」と呼ばれて流通することがあります。カバノキ科カバノキ属のウダイカンバ(マカバ)、ミズメ

(アズサ)は、それぞれカバザクラ、ミズメザクラと呼ばれて流通していることがあります。時には「〇〇」の部分略されて、単に「サクラ材」として流通している場合もあり、バラ科サクラ属のシウリザクラやヤマザクラなどと混同されることがあります。また、南洋材でも、ウダイカンバに似ているニヤト(Nyatoh、アカテツ科の複数の樹種の総称)を「南洋ザクラ」などと呼ぶことがあります。

輸入材については、ほとんどが流通名で取引されていると言ってよいでしょう。ホームセンターなどで見かけるWW(ホワイトウッド)やRW(レッドウッド)といった表記はその代表例です。前者はヨーロッパトウヒ(マツ科トウヒ属)、後者はヨーロッパアカマツ(マツ科マツ属)を指す日本国内向けの流通名です。なお、北米産のセコイア(ヒノキ科セコイア属)についても「レッドウッド」と呼ばれることがあり、全く異なる樹種でありながら、紛らわしいことに同じ流通名が使われています。

また、色味や物性が近い樹種を、ま

とめて一つの名称で流通させる例も多くみられます。先に例示したニヤトも複数の属にまたがる樹種の総称ですし、かつて合板の代名詞だったラワン(フタバガキ科パラシヨレア属などの複数樹種の総称)も同様です。このほか、北米産のツバイフォー構法用製材においては、SPFといった樹種表記がされます。これは、北米産のスプルース(マツ科トウヒ属)、パイン(マツ科マツ属)、ファー(マツ科モミ属)の頭文字をとった呼称で、これらは強度特性等が比較的似ているため、SPFとして区別なく流通させています。

もっとも、標準的な和名であつても、生物種の分類における「属」に配慮していない例は多々あります。

昨年、中国の国有林に行った際、人工林と思わしき一画で、植えられている木の樹種を現地の方に尋ねたところ、「Pine(＝英語で一般に「マツ」を指す)」との返答がありました。ただ、後から調べてみると、彼が指していたのは中国の主要な人工林樹種であるコウヨウザン(ヒノキ科コウヨウザン属、写真1)であり、生物学的には



写真1 中国の人工林でよく見かける  
コウヨウザンの葉

マツ属とは縁遠いものでした。日本でも、針葉樹のことを「マツ」とか「マツ系」などと慣例的に言う人がいますが、これと似たようなニュアンスなのかもしれません。実際、和名で〇〇マツと呼ばれているものでも、エゾマツはトウヒ属、トドマツはモミ属、ベイマツ(北米産)はトガサワラ属で、いずれもマツ属ではありません。なお、ベイマツについては現地名もDouglas Fir(ファー＝モミ属)なので、和名・英名ともに分類学的には妥当ではありません。

ここまで述べてきたように、木材の「なまえ」は非常にややこしく、また、学名以外には厳密なルールがあるわけではありません。ただ、あまりに自由すぎる名前付けのせいで、樹種の違いが分かりにくくなっている場面もあります。学術的な立場から言えば、もし新たに流通名を付けるのであれば、せめて「属」くらいは配慮してほしいな、とは思っています。





郡上市白鳥町の道の駅「白山文  
化の里長滝」に立ち寄ると、対岸の  
林でユクノキが花を咲かせていま  
した。

ユクノキ (*Cladrastis  
sikokiana*) は関東以西の本州  
や四国、九州の温帯山地に見られ  
るマメ科フジキ属の落葉高木です。  
岐阜県内でも山地や深山の斜面、  
川岸の肥沃な適潤地に生えていま  
すが、白い花を咲かせるのは数年  
に1回、場所によっては4年に1  
回、5年に1回という珍しい着花

サイクルを持った樹木です。

全国的には6〜8月に、枝先に  
長さ15〜30 cmの円錐花序を出し、  
多数の白色の蝶形花をつけます。

この樹冠を覆うように咲く花のよ  
うすを「雪の木」と称したのが名の  
由来とされ、もともとは秩父地方  
の呼び名が標準和名になったとさ  
れます。

蕾から満開までのスピードが速  
く、咲き始めるとわずか2〜3日  
ほどで散り始めます。ユクノキは  
自家受粉し難く、主な花粉媒介者  
(ポリネーター) はクマバチで、フ  
ジ類の花同様に「クマバチ媒花」と  
されます。

学名の *Cladrastis* は *clados*  
(枝) と *thraustos* (もろこ)  
の造語で、これは枝が折れやす  
いことを指しています。種小名の  
*sikokiana* は「四国産の」という  
意味で、最初に四国で発見された  
ものが登録されたためです。

葉は長さ10〜20 cmの奇数羽状複  
葉で、複葉を構成する小葉は長さ  
6〜12 cmの長楕円形で側脈が13〜

15対、この小葉が4〜6対互生し  
ます。葉の表面は無毛、裏面は粉  
白色で脈上にわずかに毛がありま  
す。

ここで問題なのが、ユクノキに  
は生育地や花、葉、幹までそつ  
くりで見分けが難しいフジキ  
(*Cladrastis platycarpa*) が  
あることです。

両樹種の見分けは、今頃ならば  
葉で、落葉期であれば冬芽がポイ  
ントです。ユクノキの葉質は少し厚  
く平面的で、葉裏は粉白っぽいのに  
対し、フジキの葉質は少し薄く葉  
形には丸みがあり、縁が波打つこと  
が多く、葉裏は淡い緑色で少々艶  
やかな特徴があります。

最も特徴的なのは、ユクノキは小  
葉の付け根には何も無いのに対し、  
フジキは小葉の付け根に小托葉と  
呼ばれる1〜2 mmの刺状の突起物  
がある点です。

また、冬芽を比較するとユクノ  
キは褐色の毛に覆われているのに  
対し、フジキは黄白色の膜に包ま  
れているので、簡単に見分けられま

す。

以前は、県内各地で見られたユ  
クノキも、その利用価値があまり  
無かったため軽視されて伐採され、  
最近ではなかなかお目にかかれま  
せん。今では和歌山県などで準絶  
滅危惧種に指定されるほど、希少  
な樹木となつてしまいました。

長良川の右岸からしばしば珍しい  
ユクノキの花を眺めてから、名瀑阿  
弥陀ヶ滝を目指したのです。



白い花を咲かせるユクノキ



## <ギターライブを開催しました!>

5月15日(金) ぎふ木遊館において、伊藤智美さんによるギターライブを開催しましたので、その様子をご紹介します。

伊藤智美さんは下呂市出身のギタリストで、令和3年度からオータムフェスタ等でぎふ木遊館にお越しいただいています。



奥様の伊藤花野さんと一緒に



演奏中の伊藤智美さん

ギターライブ当日は、見守りスタッフのさとやまさんと利用者の方と一緒に「幸せなら手をたたこう」(作詞 / 木村利人、作曲 / 有田怜)の歌に合わせて手をたたいたり、積み木を鳴らしながらリズム遊びを行いました。

また、奥様の伊藤花野さんの歌と一緒にぎふ木遊館のイメージソング「ヒトツバタゴ」(作詞 / 竹下景子、作曲 / 伊藤智美、臼井規浩)、「めだかの学校」(作詞 / 茶木滋、作曲 / 中田喜直)、「やさしさに包まれたなら」(作詞・作曲 / 荒井由実)等を演奏していただきました。

## <ぎふ木遊館の大型木製遊具たち>

ぎふ木遊館には大型木製遊具が10種類あります。今回は木育ひろばの北側に設置された森の砦(とりで)と清流ウォールをご紹介します。

森の砦は岐阜県の地形を表現した木育ひろばを見渡せる展望台です。展望台から木の実に見立てた玉を転がすと、階段状の木琴が素敵な音を奏でます。どんなメロディーを奏でるか一度聴いてみてください。

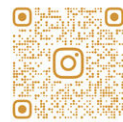
清流ウォールは「世界農業遺産 清流長良川の鮎」をテーマに鮎や岐阜の名所を表現した木製のモチーフを貼り付けて、流域の営みを表現しています。



## ぎふ木遊館公式Instagramのご紹介

ぎふ木遊館で行われる木育プログラムやイベント情報、館内の様子や木のおもちゃの話等を公式Instagramにて発信しています!

まだ来館したことない方も当館の様子がわかりますので、ぜひチェックして、フォローをお願いします。



GIFUMOKUYUKAN0717

## ☆ぎふ木遊館公式ホームページ☆

ぎふ木遊館がどんな施設なのか等の施設案内、木育プログラムやイベント情報等を掲載しております! また、ホームページの「事前予約のお申込み」から各種予約ができますので、ぜひご活用ください。







やがてみんなの森になる

# morinos

## プログラム紹介！

岐阜県立森林文化アカデミー・森林総合教育センター（morinos）では、森に親しむ入り口となる様々なプログラムを開催しています。今回ご紹介するのは、数か月に1回開催している「はだしの森 メンテナンスワーク」です。

### ＜はだしの森 メンテナンスワーク＞

「はだしの森」は、「はだしで歩ける森のトレイルを作ろう!」という想いから、令和3年度に始まったプロジェクトです。森や土、健康について学びながら整備を続け、手づくりのトレイルが令和5年度に完成しました。そして現在は、より心地よいはだしの森の環境に向け、メンテナンス活動を毎年継続的に実施しています。令和7年度は全8回、計61名の方が参加しました。今回は今年2月に行ったメンテナンスワークの様子を紹介します。

約2か月ぶりに、6名でメンテナンスを実施。最初にトレイルを歩き、森の変化を確認するところから始めました。

前回のメンテナンスで試験的に設置した枝葉のクッションは、場所によってはフカフカとした心地よい地面が育っていましたが、エントランス部分では落ち葉が風で飛ばされ、土が露出している状態でした。



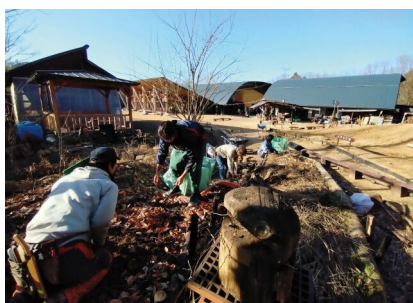
落ち葉が無くなったエントランス

そこで「はだしで歩くと気持ちよく、自然とはだしになりたくなる入口づくり」をテーマに再整備を行いました。まず落ち葉が留まりやすいようにクスノキやヒノキの丸太で枠を作り、枝葉を編み込んだ「しがらみ」と杭や石などで固定することで、環境に合わせた安定した構造にしました。

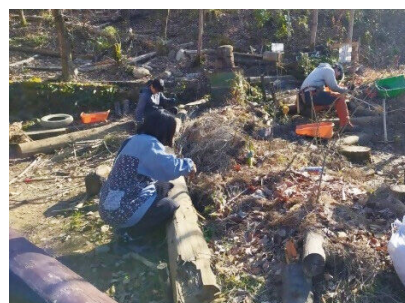
枠内の土をほぐした後、竹炭・燐炭・落ち葉・土を重ねて通気性と保水性を高め、柔らかさが持続する土壌に整えました。またエントランスに隣接するフューゲルカルチャーの土留めの丸太を組み直し、丸太の内側には枝葉を絡ませて隙間を生むことで、菌類や微生物が暮らしやすい環境になったと感じました。



エントランス前の丸太  
はだしの森への誘導を考えて、  
敷いて曲がった丸太を  
配置しています。



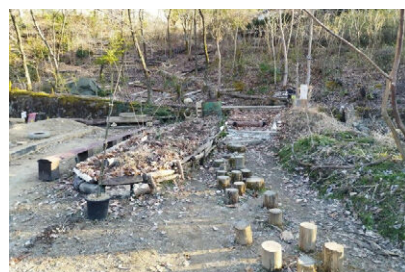
枠内の土壌の整備  
土や落ち葉をミルフィーユ状に重ねることで、  
土壌の通気性と保水性が長期的に保たれます。



フューゲルカルチャー  
フューゲルカルチャーとは、枯れ木や枝などを  
土で丘状に覆って、水や栄養を貯める耕作のことです。

作業後のエントランスは、以前とは大きく印象が変わり、思わず足を踏み入れたくなるような空間へと生まれ変わりました。

このようにmorinosでは、はだしで歩きたくなる森を目指し、自然を活かしたトレイルのメンテナンスを行っています。自然にふれたい方、体を動かしたい方、森づくりに興味のある方は、ぜひ一緒に活動してみませんか。



メンテナンス後のエントランス

morinos HPでは、こうしたプログラムから日常風景まで、様々な活動報告を行っています。興味を持ってくださった方は、morinosのHP、YouTube動画をご覧ください。

ホームページ <https://morinos.net>

YouTube 検索「morinosチャンネル」

開館時間 10:00～16:00

定休日 毎週火・水曜日



morinosHP



YouTube  
「morinosチャンネル」

## 多発する山地災害への備え

毎年7月を迎える頃から、全国各地で集中豪雨や大型台風による甚大な山地災害が発生しています。

このような災害を防止するため、県では、地形や地質からみて山崩れや土砂流出の危険度が高く、人家や道路などへの直接的な影響が大きい箇所を「山地災害危険地区」として、重点的に治山事業を進めています。

また、災害による人的被害を減らすためには、「自分の身は自分で守る」という“自助”や「周りの人たちと助け合う」という“共助”の取組が重要となります。県民の皆様には、山地災害が発生する前にぜひ、自宅周辺などの山地災害危険地区、避難所及び避難経路を確認するなど、事前の備えをお願いします。



山地災害危険地区の位置は、県域統合型GISからご覧になれます。

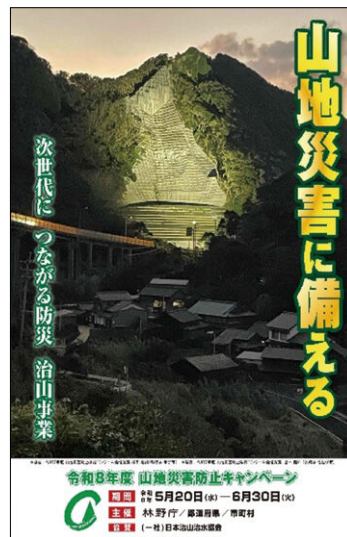
(<https://gis-gifu.jp/gifu/portal/index.html> より、「山地災害危険地区」で検索)

## 令和8年度 山地災害防止標語及び写真コンクール

林野庁、県及び市町村が一体となって実施している山地災害防止キャンペーン（令和8年5月20日～6月30日）の関連行事として、「山地災害防止標語及び写真コンクール」が、一般社団法人 日本治山治水協会の主催で実施されています。

今年度も、山地災害の防止などをテーマにした標語と写真作品を募集しています。（締切 令和8年9月30日（水）当日消印有効）

毎年作成される山地災害防止キャンペーンポスターには、このコンクールで最優秀賞に選ばれた作品が採用されることもあります。多くの方からの応募をお待ちしています。



出典：（一社）日本治山治水協会  
編集：（一社）全国林業改良普及協会

### 【標語及び写真コンクールの応募先及び問い合わせ先】

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル4階  
（一社）日本治山治水協会 標語・写真コンクール係  
TEL：03-3581-2288、FAX：03-3581-1410

【森林保全課 治山係】



# 『森林・環境税』で“緑豊かな清流の国ぎふづくり”

県では、「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、県民みんなで豊かな自然環境を守る様々な取り組みを行っています。こうした取り組みの内容について連載で紹介します。

3

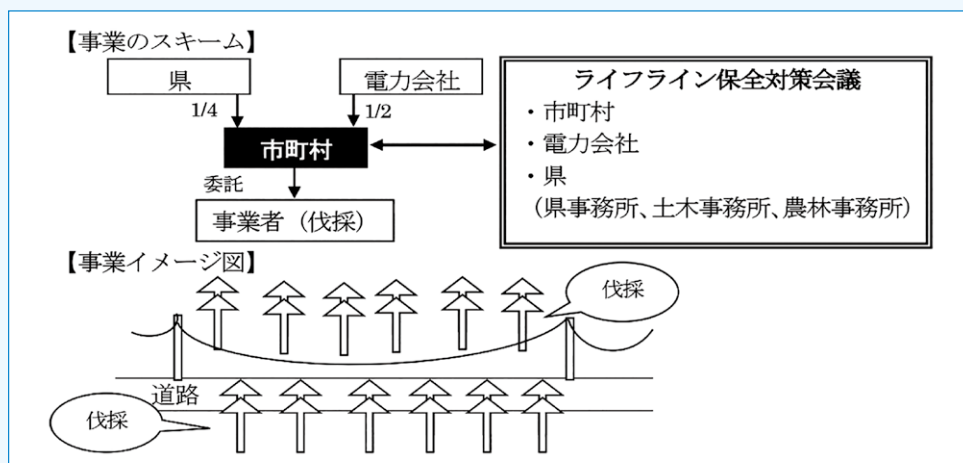
## ライフライン保全対策事業(②里山林整備事業)

### 事業目的

- ・強風や大雪など自然災害による倒木で停電を引き起こす恐れのある立木等を事前に伐採することで、ライフライン被害の防止・軽減及び孤立集落対策を図り、災害に強い森林づくりを進めます。

### 事業概要

- ・強風、大雪等による停電及びこれに起因する被害の発生を抑止するため、市町村が行う、電線の周辺に所在する立木を伐採する事業に対して補助金を交付します。また、事業計画の調整や伐採木の処分方法などの検討等を行うことを目的として、県、市町村及び電力会社等の関係機関が参加し、ライフライン保全対策会議を開催します。
- ・市町村が電力会社から負担金を徴収し、総事業費に対する負担割合は電力会社が1/2、県・市町村がそれぞれ1/4を負担します。

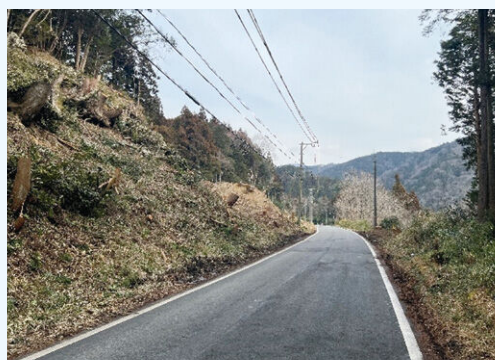


### 取組状況

- ・令和7年度は県内8市町12箇所の立木の伐採を行いました。
- ・今後も、事業実施箇所について市町村、電力会社と調整して設定し、ライフライン被害及び孤立集落発生リスクの軽減のため計画的に立木の伐採を進めていきます。



事業実施前（大垣市）



事業実施後（大垣市）

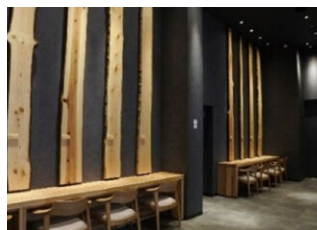




施設全景

## 施設の概要

|       |                                      |
|-------|--------------------------------------|
| 事業年度  | 令和7年度                                |
| 事業主体  | 奥飛観光開発株式会社                           |
| 構造    | —                                    |
| 延床面積  | 2,348㎡                               |
| 木質化面積 | 26.715 ㎡                             |
| 施設用途  | ロープウェイ駅・飲食店舗・休憩場所                    |
| 木材使用量 | 0.801㎡                               |
| 使用樹種  | カラマツ、オオシラビソ、モミ、スギ、サワグルミ、ウダイカンバ、ダケカンバ |
| 全体事業費 | 5,500,000円                           |
| 助成額   | 133,000円(ぎふ県産材利用促進施設等整備事業)           |
| 設計者   | 株式会社丹青社                              |
| 施工業者  | 日進木工株式会社、矢作建設工業株式会社                  |
| 工期    | 令和7年7月1日～令和7年9月25日                   |



パネルと向き合うカウンター席

## 施設の経緯

2022年、ロープウェイ山頂エリア「頂の森」のリニューアル工事に伴い、多くの伐採木が生じました。この場所は中部山岳国立公園内に位置し、貴重な自然資源を無駄にしないため、伐採木を活用したパネルをカフェのインテリアに採用することとなりました。

「頂の森」で伐採した木は、ロープウェイに吊り下げて運搬を行い、飛騨の家具メーカーのもとへと運び入れました。ひびや歪みなど、自然のものならではの課題を乗り越えてパネルに生まれ変わった木々たちは、元々生えていた山頂エリアに戻ってきました。



GOKAN パネル



木質パネル(スギ)



2人掛けテーブル

## ここに注目!!

板には、その木が生きてきた過程があらわれます。樹種ごとの色や質感の違い、板の形や、節、傷の入りの違いなど、それぞれの個性をじっくり味わってください。

## 利用者の様子

屋内にいらながらも木の温もりを感じられる、とても落ち着いた空間で、国内外問わず多くの観光客の方にお寛ぎいただいています。

問い合わせ先 奥飛観光開発株式会社  
新穂高ロープウェイ  
TEL:0578-89-2252



# ウッドデザイン賞2026 作品募集!

募集期間 6月22日~7月31日



ウッドデザイン賞は、木の魅力や価値をデザインの力で新たに発信し、暮らしと社会を豊かにすることを目的とした顕彰制度です。優れた建築・空間、製品、活動・仕組み、研究などを幅広く募集・評価し、表彰しています。今年の応募期間は 6月22日~7月31日です。ぜひご応募をご検討ください。

## 受賞のメリット

### 1. 認知度・ブランド力の向上

受賞マークをカタログや広告、製品などに使用でき、第三者機関による公的な評価として対外的なPRに活用できます。メディアへの露出機会も増え、新規顧客へのアピールにつながります。

### 2. 社内外のモチベーション向上

社員や職人の仕事への誇りや意欲が高まり、採用活動にもプラスの効果があります。また、受賞を通じて業界内のネットワーク形成や、他の受賞者・審査員との交流機会が生まれます。

### 3. 世界市場への展開

2024年より世界的なデザイン賞の一つであるドイツの「iF DESIGN AWARD」と連携協定を締結。受賞作品がiF DESIGN AWARDに応募する際には、応募登録費用およびオンライン審査免除などの特典が設けられており、世界市場でのPRや海外ビジネス展開に有効です。

#### プロダクツ分野



#### 建築・空間分野



(左上)  
HIHI DADA  
/ 飛騨産業株式会社  
2025年奨励賞(審査委員長賞)

(右上)  
KAKAMIGAHARA PARK BRIDGE  
/ 各務原学びの森株式会社ほか  
2021年優秀賞(林野庁長官賞)

#### コミュニケーション分野



#### プロダクツ分野



(左下)  
すべての人と森をつなげる morinos  
/ 岐阜県立森林文化アカデミー  
2021年奨励賞(審査委員長賞)

(右下)  
木らり 手洗いボウル  
/ 有限会社山本木工所ほか  
2024年優秀賞(林野庁長官賞)

## ~「ウッドデザイン賞2026」実施概要~

- 応募受付: 2026年6月22日(月) ~ 7月31日(金)
- 対象分野: 建築・空間、技術・建材、プロダクツ、コミュニケーション、調査・研究の5分野
- 表彰部門: ライフスタイルデザイン、ハートフルデザイン、ソーシャルデザインの3部門
- 賞の構成: 最優秀賞/「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」  
優秀賞/「林野庁長官賞」数点×3部門  
特別賞/「日本の技・文化特別賞」(日本ウッドデザイン協会会長賞) 数点  
奨励賞/「審査委員長賞」数点×3部門  
ウッドデザイン賞(入賞)/二次審査を通過したものすべて
- スケジュール: 10月上旬にウッドデザイン賞(入賞)、11月上旬に最優秀賞等を発表  
12月上旬に最優秀賞等 表彰式と作品展示を東京ビッグサイトにて開催



詳細はこちら



## クヌギ植栽木の枯死原因と再植栽の指導について

岐阜県立森林文化アカデミー 森林技術開発・支援センター

普及企画係 梶浦善孝



## ■はじめに

森林所有者が主伐した跡地で、将来、シイタケ原木に使える林にしたいと、コナラと、この地域ではあまり馴染みのないクヌギの苗木を令和6年11月2～3日に植栽しました。

しかし、翌年の春、植栽した苗木の活着状況を確認したところ、コナラで2割程、クヌギで7割程が枯死したとのことでした。

## ■植栽地の概要

- ・場所…加茂郡白川町佐見地内
- ・面積…0・16 ha
- ・斜面方向…南西
- ・傾斜…20度程
- ・植栽木…長野県産 2年生裸根苗
- ・獣害対策…単木保護資材設置

(筒型・網型の2種類)

なお、当植栽地は森林所有者のご厚意で、単木保護資材の種類の違いによる樹高、根本直径等の調査地として岐阜県森林研究所に提供していただいています。

## ■枯死原因の推測

コナラ苗の枯死率はそれほどでもありませんでしたが、クヌギ苗の枯死

率が7割と大きかったことから、再植栽に向けてその原因を推測してみました。

## 1 植栽時期

植栽時期は春植えが一番適していますが、今回の植栽時期は11月上旬で秋植えとしては問題ない時期でした。

しかし、当時の気象データを確認すると植栽後、10日間ほど降雨がなく、土壌水分が少なくなったため枯死した可能性が推測できます。

## 2 入荷した苗木

到着した苗木はコナラ、クヌギとも青い葉がついていましたが、日をあまり置かずに植栽したということ苗木に原因はないと判断しました。

## 3 植栽の仕方

土中に石礫が多く、唐鋤で植穴を掘るのが大変だった。また、葉のついた苗木であったため少し急いで植栽したとのことであったので、本来、取り除かなければならない地表の堆積有機物層(A0層)をしつかり取り除けなかったことも枯死の原因の可能性が推測されます。

## 4 葉の蒸散と根の水分吸収の関係

届いたクヌギ苗は青い葉がついていました。植栽後4日間は最高気温が22度を超えており、葉の蒸散が進む一方、根が土に馴染んでおらず、水分の吸収が追いつかなくなり枯死したのではないかと推測されます。



植栽地全景

## ■クヌギの特性

コナラとクヌギの植栽時期と植栽者は同じであり、コナラを斜面上方に、クヌギは土壤条件の良い斜面下方に植栽したにも関わらず、クヌギの枯死率が高かったため、クヌギの特性を調べました。クヌギはコナラに比べると乾燥に弱く、また、土壌が厚い平坦

や斜面の緩やかな肥沃な土地を選ぶようです。

## ■再植栽において注意したこと

再植栽した苗木が再び枯れないよう、推測した枯死の原因をすべて取り除き、植栽することしました。また、植栽の仕方を森林所有者とご家族に説明しました。



植栽の仕方を説明

## (対策した内容)

- ・再植栽は令和8年3月13日に行い、植栽時期としては最適な時期を選定。
- ・地表の堆積有機物層(A0層)は通気性が高く、この層に植栽すると根が乾燥して枯死する可能性が高いため、唐鋤でしつかり取り除き、また埋め戻し土として使わない。
- ・クヌギの直根の長さは30cmあるため、根が浮かないよう植穴の深さをしつかり30cm掘る。
- ・植栽後、葉の蒸散量を抑えるため、



苗高80cmある苗を根元より地上長40cmの位置で切りつめた。

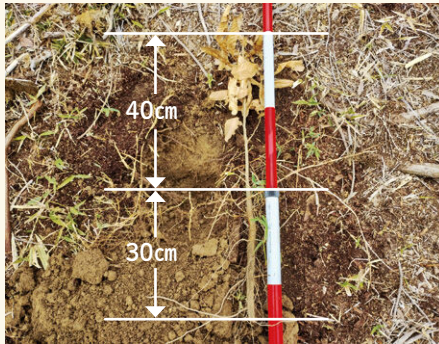
・埋め戻した土はほぐしているため苗木の根に少しでも密着させる、また、風で苗木が倒れないよう根本の土を足で軽く踏む。

### ■再植栽を終えての感想

・基本に忠実な植栽をしたため、作業効率は落ちた。

・青い葉がついた苗を植栽する場合は、葉を半分くらいむしり取る、または苗丈を切りつめた方が良かった。

・土中に石礫が多いと唐鍬で石を取り除きながら深さ30cmの植穴を掘るのは一苦労。これがコンテナ苗で根鉢の高さが15cm程度であれば、専用器具のディブルは使えないかもしれないがかなり労力が楽になる。



丈を切りつめたクヌギ苗

### ■活着率調査

春の芽吹きを待って、令和8年4

月30日にクヌギ植栽木の活着率を調査しました。調査は単木保護資材の筒型と網型毎に、再植栽本数の45%にあたる本数について行いました。

その結果、調査したすべての植栽木の芽吹きを確認し、活着率は100%となりました。また、筒型と網型の芽吹いた葉の大きさでは筒型の方が大きいことが分かりました。理由は筒型内の温度が網型よりも上昇し、成長を促したのではないかと推測しました。

なお、芽吹きによる活着率は良かったものの、その後枯死する可能性も否めないため、追跡調査が必要であることから、真夏に再度調査を行うとともに、今後の保育について森林所有者へ助言を行っていく予定です。



クヌギ苗の芽吹き状況

●詳しい内容を知りたい方は  
TEL0575-1351-25335

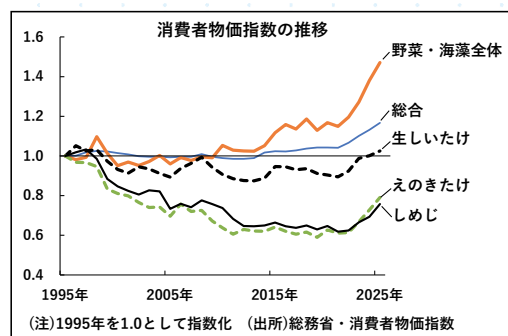
森林文化アカデミー  
森林技術開発・支援センターまで

### きのこの価格

森林技術開発・支援センター きのこと通信

10

きのこ生産者の方から、「きのこの価格が上がない」という話がよく聞かれます。果たして、実際の状況はどうなのでしょう？  
様々な財・サービスの物価変動を示す指標として、消費者物価指数があります。



(注)1995年を1.0として指数化 (出所)総務省・消費者物価指数

グラフを見ると、「総合」と「野菜・海藻全体」の指数は概ね一貫して上昇傾向である一方で、「生しいたけ」、「えのきたけ」、「しめじ」の指数は30年間ずっと低空飛行していることが分かります。消費者の立場としては嬉しい限りですが、生産者にとっては非常に厳しい状況です。

い環境であることが推察されます。

このような状況の中、県内のきのこ生産者においては、きのこの需要拡大・付加価値向上を図るために、様々な取り組みがされています。

一例として、関市の「株」エコピア平成さんでは、しいたけを用いた様々な加工品を開発・販売することによって、需要の底上げが図られています。



しいたけ加工品の売場  
(道の駅平成)

他の生産者の様々な取り組みもご紹介したいところですが、それはまた別の機会にしたいと思います。

●詳しい内容を知りたい方、きのこに関する相談は

TEL0575-1351-25335

森林文化アカデミー きのこと振興センター  
技術普及係まで



# 森林研究所の研究について

森林研究所 中通 実

## はじめに

森林研究所は、美濃市内にある県立森林文化アカデミーの東に位置しており、林業・木材産業界の方々と連携しながら、健全で豊かな森林づくりと森林資源の利用を推進するための研究開発に取り組んでいます。研究内容や成果については毎月本コーナーで情報発信していますが、今回は当所の令和7、8年度に開始した主な研究課題を紹介します。

## ◆令和7、8年度に開始した研究課題

### 【森林づくりの推進に関する研究】

①森林作業道設困難地判別のための表層地盤簡易評価手法の開発  
(研究期間：R8～R10)

森林作業道の計画段階において、軟弱地盤などの作設困難地を精度良く判別するための表層地盤簡易評価手法を開発します(写真1)。この技術により、森林作業道計画時に表層地盤の状況を簡易に評価できるようになり、作設前に適切な対策を実施することで、予期せぬ表層地盤状況由来の計画の再検討や対策にかかる経費の発生を抑えることが可能となります。



写真1 簡易器具による評価の例



写真2 ヒノキ球果

②スギ・ヒノキ球果害虫の防除技術の開発(研究期間：R7～R8)

スギ・ヒノキ種子の発芽率低下の主な原因となっているカメムシ類被害を抑制するため、浸透移行性殺虫剤を使用した防除技術の開発を行います(写真2)。この技術により、スギ・ヒノキ種子の発芽率が向上し、県産苗木の供給安定化を図ることができ

### 【森林資源の利用に関する研究】

①酸化酵素を用いたシイタケ変色リスク評価技術の開発(研究期間：R8)

出荷後の品質低下(変色)を改善し産地の評価をさらに高めるために、変色のカギとなる酸化酵素を利用したシイタケの変色リスク評価技術を開発します(図1)。この技術により、生産者自ら、変色リスクを評価でき



写真3 ヒノキ接着重ね材強度試験状況

生産者が自ら変色リスクを早く、安く手軽に評価が可能となる

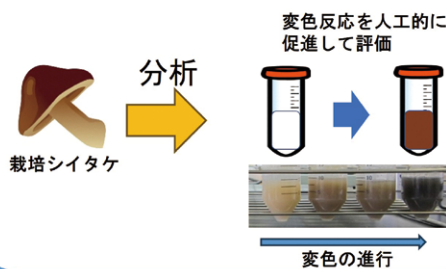


図1 シイタケ変色リスク評価技術の目的

るようになり、対策を講じやすくなります。

②大径材・虫害材を活用した構造物製品の開発と品質向上(研究期間：R7～R9)

今後増加が見込まれるスギ・ヒノキの大径材や虫害材の用途拡大を図るため、大学や地域の企業などと一緒にスギ・ヒノキ接着重ね材の製造方法やスギ平角材の品質向上にむけ

た乾燥技術を開発します(写真3)。この技術により、大型機械を用いず、ヒノキ接着重ね材を製造でき、高温乾燥の際のスギ平角材の内部割れを軽減することができるようになります。

## ◆これまでの研究成果の技術移転について

当所の研究成果は毎年1回開催している研究成果発表会で紹介しており、今年度は7月10日に関市わくさプラザで開催予定です。また、当所ホームページでは技術指針等の成果物や研究成果報告、研究紹介など多くの技術情報を公開しているほか、ぎふ森林情報WebMAPのページでは、CS立体図などの地図が確認できます。ぜひご覧ください。

森林研究所ホームページ

<https://www.forest.nd.pref.gifu.lg.jp>

## ◆おわりに

今回紹介した課題等について興味を持たれましたら、森林研究所までお問合せいただければ幸いです。

また、当所では、研究業務のほか、随時、皆様からの試験依頼や各種相談にも対応し、県民や業界に寄り添った研究所として活動しています。森林管理や森林資源の活用などの相談だけでなく、疑問に感じたことなど、気軽に質問やご意見をいただきますようお願いいたします。

●詳しい内容を知りたい方は

TEL 0575-33312585

森林研究所まで



| 開催日                   | 行事名等                 | 内 容 等<br>(概要、定員、受講料、申込期限など)                                                                                                                                                                                                                                                          | 場 所                                                                                  |
|-----------------------|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|                       |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 申込(問合せ)先/TEL                                                                         |
| 8月5日(水)~<br>8月6日(木)   | 木材加工用機械<br>作業主任者技能講習 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間：5日~6日 8:30~17:40</li> <li>●申 込：開催日の20日前まで</li> <li>●受講料：17,820円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：40名(定員になり次第締め切ります。)</li> </ul>                                                                                                                 | J A ひだ古城営農センター<br>(飛騨市古川町上野571-1)                                                    |
|                       |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 林材業労災防止協会 岐阜県支部<br>電話 058-275-0192<br>FAX 058-201-1195                               |
| 8月18日(火)~<br>8月19日(水) | 伐木等機械の運転業務<br>特別教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●講習時間：18日 学科 9:00~16:00<br/>19日 実技 9:00~16:00</li> <li>●申 込：開催日の20日前まで</li> <li>●受講料：46,530円(本代含む)(振込み)</li> <li>●定 員：30名(定員になり次第締め切ります。)<br/>(学科及び実技一部免除者を含む。実技講習は<br/>10名単位の開催となりますので実技受講者が<br/>10名以上の場合は翌日になりますのでお問合<br/>せ下さい。)</li> </ul> | 18日(学科)<br>ぎふ森林文化センター<br>(岐阜市六条江東2-5-6)                                              |
|                       |                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                      | 19日(実技)<br>郡上市地内山林(予定)<br><br>林材業労災防止協会 岐阜県支部<br>電話 058-275-0192<br>FAX 058-201-1195 |



## コラム

熱い男で「熱男」。好きな野球選手のキャッチコピーですが、私もそんな熱男を目指して一年前、「森林のたより(令和7年7月号)」のコラムで「仕事をがむしゃらに取り組む」と宣言しましたが、この一年を振り返ってみると反省点ばかりだったなと感じます。

終始「がむしゃら」だったかと言われると何とも言えませんが、「がむしゃら」だけではカバーできない事を痛感しました。今年度はもう少し仕事のやり方を見直し、効率を考えながらスムーズに業務を遂行できればと思います。

私事ですが今年度は同学年の多くが社会人1年目となる年となりました。友人と話している中でも仕事の話が大半となってきてしまいました。今年で5年目になる私にとっては少々プレッシャーとなってきていますが、同学年が私の姿をみて参考にできるよう日々の業務に取り組めたらと思います。

「森林のたより」編集委員 自然環境課 吉良 信一郎

## 8月号予定

### イベント情報

#### 連載

●山の歳時記(252)

#### 清流と森と親しむ

●森林と人を活かす知恵(163)

#### 木と親しむ

●岐阜県の公共木造建築(159)

#### 清流の国ぎふ森林・環境税

#### 森林・林業技術

●研究・普及コーナー

#### 市況情報

#### その他

8月1日  
発行

## 木材市場

木材市況 県森連 岐阜・飛騨・東濃林産物共販所  
単位:円(1㎡当たり)

| 回数<br>共販所名          | 樹種  | 長さ      | 径       | 平均値    | 高値     | 気配 |
|---------------------|-----|---------|---------|--------|--------|----|
| 第1902回<br><br>岐阜共販所 | すぎ  | 3 m     | 16～18cm | 14,600 | －      | →  |
|                     |     | 4 m     | 16～18cm | 13,500 | －      | →  |
|                     |     |         | 20～22cm | 14,500 | －      | →  |
|                     |     |         | 24～28cm | 14,300 | －      | →  |
|                     |     |         | 30cm以上  | 13,000 | 15,000 | →  |
|                     | 6 m | 16～22cm | 17,000  | －      | →      |    |
|                     | ひのき | 3 m     | 16～18cm | 19,500 | －      | ↘  |
|                     |     |         | 20cm以上  | 18,000 | 22,100 | ↘  |
|                     |     | 4 m     | 16～22cm | 20,000 | －      | →  |
|                     |     |         | 24～28cm | 19,000 | －      | →  |
| 30cm以上              |     |         | 18,000  | 30,300 | →      |    |
| 5月12日               | 6 m | 16～18cm | －       | －      | →      |    |
| 第1504回<br><br>飛騨共販所 | すぎ  | 3 m     | 16～22cm | 14,700 | －      | →  |
|                     |     | 4 m     | 24～28cm | 14,800 | －      | →  |
|                     |     |         | 30cm以上  | 14,000 | －      | →  |
|                     | ひのき | 3 m     | 16～18cm | 20,400 | －      | →  |
|                     |     | 4 m     | 20～22cm | 19,700 | －      | →  |
|                     |     |         | 24～28cm | 19,200 | －      | →  |
|                     |     |         | 30cm以上  | 19,000 | －      | →  |
|                     |     | 6 m     | 16～20cm | －      | －      | →  |
|                     | ひめこ | 4 m     | 24～28cm | 12,000 | －      | ↘  |
|                     |     |         | 30cm以上  | 13,000 | －      | ↘  |
| 5m                  |     | 40cm以上  | －       | －      | ↘      |    |
| 5月27日               | くり  | 4 m     | 24cm以上  | 14,000 | －      | →  |
| 第1838回<br><br>東濃共販所 | すぎ  | 3 m     | 16～22cm | 14,000 | －      | →  |
|                     |     | 4 m     | 24～28cm | 14,500 | －      | →  |
|                     |     |         | 30cm以上元 | 15,000 | －      | →  |
|                     | ひのき | 3 m     | 16～22cm | 20,000 | 27,000 | →  |
|                     |     |         | 24～28cm | 19,500 | 29,000 | →  |
|                     |     |         | 30cm以上元 | 28,000 | 29,000 | →  |
|                     |     | 4 m     | 13cm以下  | 12,000 | －      | →  |
|                     |     |         | 16～22cm | 20,000 | －      | →  |
|                     |     |         | 24～28cm | 19,500 | 26,000 | →  |
|                     |     |         | 30cm以上元 | 29,000 | 73,000 | ↗  |
| 5月28日               | 6 m | 18～22cm | 29,500  | －      | →      |    |
| まつ                  | 4 m | 30cm以上元 | －       | －      | →      |    |

※単価は直材価格、但し平均値は並材二番玉価格。気配は、前回市との比較。

## 【商況】

スギ4m元木・尺上良材は出材が少なく、入札は平常、価格は保合。スギラミナ向け3m・4m材は強含みで推移している。ヒノキ元木良材4mは出材が少なく、入札は平常。ヒノキ3m・4mの構造材は価格が弱含み。合板向けは価格こそ保合ながら納材は順調。製紙向けパルプ材、発電向け未利用材はいずれも原木不足感が強く、需要は高い。(岐阜)

スギ並材は安定している。ヒノキは全体的に弱含み傾向。広葉樹は総じて安定した値動き、特にクリ、ナラの引き合いが強い。高値は、ナラ2.2m×46cm@59,900円、クリ2.1m×44cm@53,800円、ミズメ2.1m×26cm@28,300円、サクラ2.2m×32cm@34,400円、ホオノキ2.1m×30cm@28,000円。(飛騨)

スギ・ヒノキともに良材が市場を牽引し、全体として活気ある展開となった。ヒノキは4m元木・中目良材への地元工務店の引き合いが堅調で、3mの元木尺上材・柱役物材も保合。一方、構造材向け並材は3m・4mともに荷動きが鈍く弱基調で、特に3m柱材は弱保合。2mの尺上良材が保合を維持した一方、20cm以下は引き合いが弱く弱含み。スギは品薄が続き、4m元木・中目良材、4m(24cm以上)構造材、3m材がいずれも強保合で推移。合板向けは価格保合ながら納材は順調。ラミナ向けも横ばいで、今後の動向には注視が必要。その他の高値としてヒノキ5m×60cm@153,400円が見られた。(東濃)

## 製品卸売標準価格 (5月期)

単位:円

| 樹種             | 用途 | 寸法(mm) |     |     | 等級   | m <sup>3</sup> 当り<br>価格 | (本(枚)単価)  | 前月<br>比較 |
|----------------|----|--------|-----|-----|------|-------------------------|-----------|----------|
|                |    | 長      | 巾   | 高   |      |                         |           |          |
| スギ             | 柱  | 3000   | 105 | 105 | 1等   | 68,000                  | ( 2,249)  | →        |
|                | 間柱 | 3000   | 105 | 30  | 1等   | 70,000                  | ( 662)    | →        |
| ヒノキ            | 土台 | 4000   | 105 | 105 | 特等   | 76,000                  | ( 3,352)  | →        |
|                | 柱  | 3000   | 120 | 120 | 特等   | 75,000                  | ( 3,240)  | →        |
|                |    | 6000   | 120 | 120 | 特等   | 155,000                 | ( 13,392) | →        |
| W集<br>ウ成<br>ド材 | 柱  | 3000   | 105 | 105 | 国産5層 | 91,000                  | ( 3,000)  | ↑        |
|                |    | 3000   | 120 | 120 | 国産5層 | 93,000                  | ( 4,000)  | ↑        |

※日刊木材新聞調べ(名古屋標準相場 全てKD材)

## 外材市況 (5月期)

単位:100円(1㎡当たり)

| 樹種  | 規格        | 価格  | 前月比較 |
|-----|-----------|-----|------|
| 米松  | SSタイプ     | 432 | →    |
|     | コースト(目荒)  | 439 | →    |
| 米楡  | ヘム(アラスカ産) | 468 | →    |
| 米ひば | ポール       | —   | —    |

日刊木材新聞調べ 名古屋標準相場(径級は30cm上、米松コーストのみ大阪相場)

これってなあに? ~木材用語~

## フリッチ

丸太の片材部を除去した角材を総称している。スライサーにかけて化粧合板用のツキ板に利用したり、造作建具用製材向けに再割して利用する。

(参考)日刊木材新聞社 木材・建材用語辞典